

東京電機大学 研究フォーラム

－医療福祉機器ものづくりの新体制－

東京電機大学は、創立以来「実学尊重」の理念の下、生体医工学分野に関する研究・教育を40年以上に渡り行い、生体医工学関連の研究機関、大学、医療機器関連の企業等に多くの卒業生を輩出してきました。一方、医療福祉工学分野の「ものづくり」において、世界をリードする実績を作るには、若手研究者と働き手の育成が不可欠で、大企業のみならず力のある中小企業の育成も欠かせません。本学の従来の生体医工学を、「ものづくり」に役立つ新たな体系に再構築する必要があります。今回のフォーラムは、本学の生体医工学に関する知的財産を、地域に根差した企業との「ものづくり」に生かすことを目的に、その第一歩として企画しました。

日時：平成26年1月30日（木）13：00～17：00

場所：東京電機大学 東京千住キャンパス 100周年ホール

[スケジュール]

13：00～13：10 開式の挨拶

土肥健純（東京電機大学）「東京電機大学の医療福祉機器戦略について」

13：15～14：20 基調講演

基調講演1：13:15～13:45 司会：福井康裕（東京電機大学）

梶谷文彦（川崎医療福祉大学）「医用生体工学の現状と将来」

基調講演2：13:50～14:20 司会：小谷 誠（東京電機大学）

谷下一夫（早稲田大学）「ものづくりコモンズからの期待」

14:30～16:50 研究部門からの紹介

1) 生体計測と磁気応用

司会：土肥健純（東京電機大学）

根本 幾（東京電機大学）「脳磁界による脳の機能計測」

内川 義則（東京電機大学）「生体磁気計測と信号処理」

2) 人の健康と治療を支援する医療・福祉工学

司会：内川 義則（東京電機大学）

平栗 健二（東京電機大学）「生体親和性のある新素材」

舟久保昭夫（東京電機大学）「人工臓器の将来」

佐藤 太一（東京電機大学）「福祉メカトロニクス技術」

3) 細胞レベルの医療工学

司会：平栗 健二（東京電機大学）

村松 和明（東京電機大学）「再生医療の細胞制御工学」

三井 和幸（東京電機大学）「心筋細胞の活動と心臓病」

16：50～17:00 閉式の挨拶

安田 進（東京電機大学研究推進社会連携センター）

◎ご出席ご希望の方は、お名前とご所属を下記担当までご連絡ください。

120-8551 東京都足立区千住旭町5番

東京電機大学研究推進社会連携センター（研究推進部）

TEL：03-5284-5230

E-mail：kenkyu-k@jim.dendai.ac.jp

【アクセス-東京千住キャンパス-】

北千住駅東口（電大口）から徒歩 1 分

（JR 常磐線、東京メトロ日比谷線、千代田線、東武スカイツリーライン、つくばエクスプレス）